

平成28年度鹿児島港中央港区開発推進協議会総会議事録

1 開催日時及び場所

(日時) 平成28年9月13日(火) 13:30~14:00

(場所) 鹿児島県木材産業協同組合 事務所2階会議室

2 会員数及び出席者数

- ・ 会員数 86人 (鹿児島市三号用地振興協議会 20人、鹿児島機械金属工業団地協同組合 11人、鹿児島県木材産業協同組合 30人、その他 25人)
- ・ 出席者数 43人

3 議事の内容

- ・ 定刻に至り、事務局担当者が開会を宣する。
- ・ 柴立 会長より開会の挨拶がなされた。
- ・ 関係行政機関の来賓祝辞が行われました。
国土交通省鹿児島港湾・空港整備事務所 河合 所長
鹿児島県港湾空港課 上大田 課長(代読:中迫 港湾対策監)
鹿児島市都市計画部 坂元 部長(代読:山口 主幹)
- ・ 議長については、規約により会長が行うこととなっていることから、柴立会長が議長席につき議事の審議に入る。

◆ 第1号議題 平成27年度協議会活動実績

- ・ 第1号議題について、議長が説明を求めたので、事務局員は別紙資料により平成27年度活動実績について説明を行った。
- ・ 設立総会、理事会、要望活動、アンケート調査及び研修会についての活動内容について報告を行い、了承された。

◆ 第2号議題 現時点での開発計画の動きについて

- ・ 第2号議題について、議長が説明を求めたので、事務局員は別紙資料により現時点での開発計画の動きについて説明を行った。
- ・ 新聞記事を基に、鹿児島港臨港道路、錦江湾でのマリナー計画及び鹿児島港旧木材港区再開発について報告を行い、了承された。

◆ 第3号議題 平成28年度活動計画(案)等について

- ・ 第3号議題について、議長が説明を求めたので、事務局員は別紙資料により平成28年度活動計画(案)及び関連するその他について説明を行った。
- ・ 平成27年度と同じスケジュールで今後、理事会、要望活動及び研修会を行いたいと報告がなされた。
- ・ 協議会活動経費の運営について、3団体からの助成金を基に活動を行い、会員からの会費は徴収しないとの説明がなされた。
- ・ 顧問の政田 敬次氏が市議会議員を退任されたことに伴い、協議会顧問を退任されるとの報告がなされた。
- ・ 第3号議題について、議長が諮ったところ、異議なく承認された。
- ・ 質疑応答については、講演会後にまとめて行うとの議長説明がなされた。

- ◆ 以上で総会での審議を終了したので議長より閉会を宣した。

設立総会終了後、以下の講演会及が開催され、多くの会員が参加されました。

◎ 講演会 「鹿児島港中央港区の開発計画」 14:00 ~ 14:40

講師 鹿児島港湾・空港整備事務所長 河合 弘泰 様

- ・ 鹿児島港の概要や中央港区における最近のトピックスについて、わかり易い資料を基に講演していただきました。現在実施されているボーリング調査についても事業概要を詳細に説明されました。

◎ 質疑応答 14:40~15:00

(Q) 水面貯木場については埋立をせず、マリーナを作ってもらいたいと思っているが、埋立をするのはどの程度なのか。県と市の埋立地利用に対する考え方にちぐはぐなところがあるのではないかと。

(県) 現在調査を行っているが、埋立面積は決まっていない。埋立地の利用については市と調整する予定である。マリーナについては、平成24年マリーナ計画を策定し、鹿児島港内が最適であるとの判断に基づき、現在適地港区を調査中である。

(Q) 今回、事業調整調査費として5千万円予算化され、平成29年度事業化が期待できると思われるが、今年他県において同様な調査費が認められた例はあるのか。

(国) 事業調整調査費は、事業化のために工法、経費及び投資効果等を検討するための予算であるが、他に同様な調査費があるのか承知していない。指宿港海岸保全工事についても事業調整調査を行ってから事業化した。

(Q) 市は、市長マニフェストにもあるように、市民のハーバーマリーナを早期に整備してもらいたい。

(市) 港湾管理者である県と連携を図る必要があり、市単独での計画実現は困難である。広島市における民間活力を利用した事例についても実地調査を行っている。

(Q) 南港にはタンカー等も出入りしているが取扱はどのように考えているのか。

(県) 現段階では、南港の位置づけが未定であることから、船舶の通過する区間については、最後に橋梁工事をする事になる見込みである。